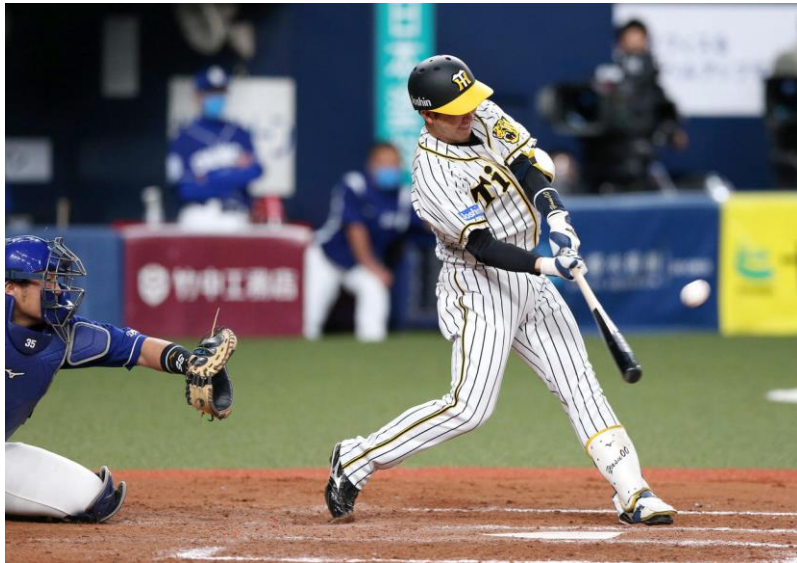
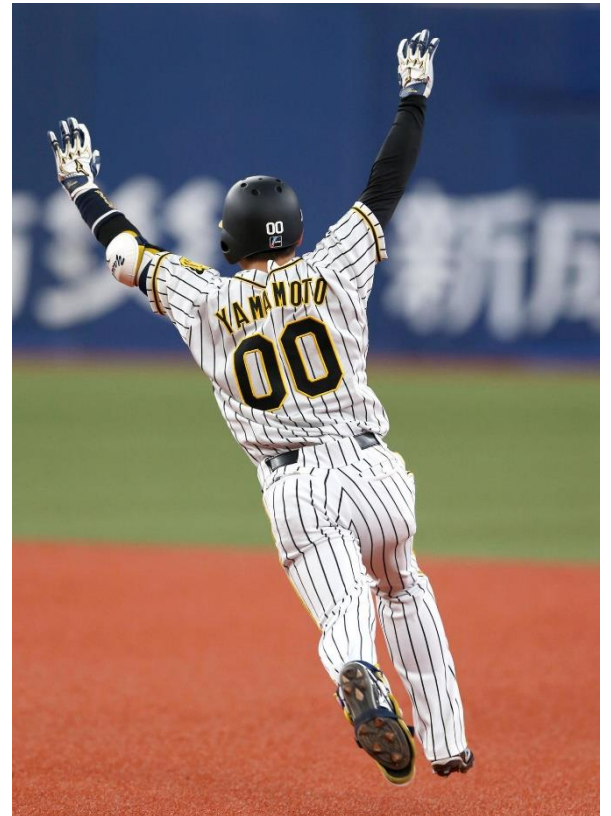


サヨナラ打「これで阪神の一員に」



阪神対中日 9回裏阪神2死一、二塁、山本はサヨナラ中前適時打を放つ(撮影・上山淳一)



<阪神1-0中日>◇3日◇京セラドーム大阪

山本泰寛内野手(27)がプロ入り初のサヨナラ打を放ち、阪神が今季ホーム初勝利を挙げた。「このタイガースの一員になれた気がして本当にうれしいです！」と巨人から移籍後初めてのお立ち台で喜びを表した。

0-0の9回。矢野監督が代打攻勢に出た。先頭の木浪には原口を起用。中日2番手福に8球投げさせ四球で出塁すると、京セラドーム大阪のボルテージが上がった。続く板山の代打北條は犠打を成功。1番近本には陽川を投入すると、申告敬遠で1死一、二塁と好機を拡大させた。

糸原が倒れ2死一、二塁となり、打席には途中出場の山本。「積極的にいこうという気持ちだった」と初球を捉えた。打球はグングン伸び、中越えの適時打で試合を決めた。昨オフに金銭トレードで阪神へ移籍してきた男が、ホーム2戦目で自己紹介がわりの一打を放った。

主力にも惜しみなく代打を投入し、勝利をたぐり寄せた。矢野監督は「いやあ、しびれましたね。もうちょっと早く決めたかったですけどね。でもヤス(山本)が最後、本当にいい形で決めてくれてめちゃくちゃうれしいです」とヒーローをたたえた。

◆山本泰寛(やまもと・やすひろ)1993年(平5)10月10日、東京都生まれ。慶応高から慶大に進学し、15年ドラフト5位で巨人に入団。バッテリー以外の内野全ポジションをこなすユーティリティープレイヤー。通算193試合に出場し、打率2割3分7厘、3本塁打、24打点、5盗塁。今季推定年俸1800万円。176センチ、76キロ。右投げ右打ち。